

第5回郡山市上下水道事業経営審議会 議事概要

日 時	令和7年6月2日(月) 午後1時15分～午後3時00分
場 所	郡山市上下水道局5階 大会議室
出席者	<p>【委員：11名】 中野和典会長、小林裕子副会長、明田想平委員、粟野博行委員、伊藤江梨委員、太田善雄委員、渋谷正夫委員、橋本優子委員、藤沼祥子委員、満田仁一委員、茂原伸幸委員 ※欠席者：渡邊博之委員、大槻礼子委員、</p> <p>【事務局：18名】 菊池局長 外</p>

1 開会	
事務局	第5回郡山市上下水道事業経営審議会を開会する。
2 会長あいさつ	
会 長	<p>本日は、上下水道事業の今年度の予算、水道料金についての審議となっており、予算の編成と水道料金の算定の考え方についての整理となる。</p> <p>今年度末には、水道料金、下水道使用料等の算定をはじめとした、上下水道事業の経営についての答申を予定しているの、委員の皆様には、それぞれの立場での闊達な意見をいただきながら、会を円滑に進めてまいりたい。</p>
3 審議	
事務局	<p>出席者は11名、欠席した委員は2名。</p> <p>郡山市上下水道事業経営審議会条例第5条第2項により、出席者が過半数であるため、本日の会議は成立していることを報告する。</p> <p>議事は会長が議長となり進めていただく。</p>
議 長	本日の傍聴希望者はいるか。
事務局	本日の傍聴希望者はいない。
① 上下水道事業の予算について(資料1)	
議 長	事務局から説明をお願いしたい。
事務局	【資料1】令和7年度上下水道事業当初予算について】説明
議 長	委員から意見等あればお願いしたい。
委 員	<p>Q1 下水道事業の収益的収入と収益的支出では、収益的支出が大幅な増になっているが、どこから事業費が捻出されるのか伺いたい。</p> <p>Q2 下水道の積立金残高がどのように推移しているのか伺いたい。</p> <p>Q3 下水道事業の補填財源と書いてある36億9,500万円の中身を伺いたい。</p>
事務局	<p>A1 下水道事業の収入は、出資金や補助金などの不課税収入が多く入っている。自治体の予算は税込で作成するため、税込で予算を作成すると支出の方が多くなるが、人件費等以外については課税支出が多いため、税金を考慮するとほぼ同額となる。</p> <p>A2 下水道事業の積立金は、積立てせずに必要な金額だけ一般会計から繰り入れる形を取っているため、実質、下水道事業は積立金がない状態である。</p> <p>A3 補填財源というのは、減価償却費の内部留保金のことである。名称として補填財源という名称を使わせていただいている。</p>

委員	水道の積立金が急激に減少するように見えるが、今後の方向性はどうか。
事務局	積立金の推移は、投資財政計画に財源繰越額として記載している。 10年分の予測値を毎年示して、推移を確認している。
委員	資料1にある基幹管路総延長の数字は全て基幹管路の数値でよろしいか。
事務局	基幹管路総延長が令和6年度末で121,471mであり、基幹管路の延長の数値になる。
委員	限られた収入の中で、施設の老朽化対策や更新が含まれており、今後も進めていただけたら良いと思う。 予算編成方針に汚水対策や水環境の保全など流域全体での水管理に取り組むと書いてあり、今後も水道・下水道ともに水管理を続けていただけたら良いと思う。
委員	ダウンサイジングやスペックダウンを図っていくという方針が示されているが、どんな形で進めていくのかお聞きしたい。
事務局	ダウンサイジングやスペックダウンを行うタイミングとしては、施設の更新時や寿命を迎えた時になるため、人口減少が進んだ先にどのくらい施設等を縮小できるか、今後課題になってくると感じている。
委員	末端の家が一軒になっても水道管を引き続けるのか、それが今後可能なのか、準備をしていかないといけない時期なのではないか。
② 水道料金について (資料2)	
議長	事務局から説明をお願いしたい。
事務局	【資料2】水道料金について】説明
議長	委員から意見等あればお願いしたい。
委員	Q1 10年間の財政計画では、10年後に事業費が半分になる事業もあり、順調に減る見通しをどう立てているのか知りたい。 Q2 設備更新は堀口浄水場を更新して、そのための借入はどの科目に入っているのか知りたい。
事務局	A1 現在メインで行っている老朽化した基幹管路の更新が10年以内に終わるため、減少する形になる。 A2 堀口浄水場など浄水場の更新費用を建設改良費に含んでいる。
委員	今回は上水道について行い、第6回に下水道、第7回に上下水道それぞれの料金の最終審議を行うという流れで良いか。
事務局	第6回は第7回の審議に向けて、下水道使用料についての考え方を示し、第7回で今回お渡しした参考資料2の投資財政計画の更新したものを示す予定となる。 それをもって据え置きなのかどうかも含めて、料金の審議をしていく形になる。
委員	第7回で色々な意見があった場合は、時間的な制約はあるが、第8回が答申になるのか、もしくは議論するといった可能性も含むということが良いのか。
議長	第8回の答申案のところで意見が分かれる場合は、第8回のところで議論する可能性もあるという認識で良いと思う。
委員	Q1 投資財政計画の10年分の予測では、積立金が少ない年で約20億円に減っているが、どのくらいの積立金があれば良いのか聞きたい。 Q2 水道料金算定のため4年分のバランスを確認するにあたり、今後の利上げや資材価格の高騰などの見通しはどの程度含まれているのか聞きたい。
事務局	A1 実際どのくらいの水準が適切か基準はないが、概ね20億円や30億円を確保しながら運営したいということである。 A2 毎年投資財政計画を作成して、それを基に料金算定を行い、審議会で料金を審議

	していくことにより、インフレ等により大きく予測が違ったとしても、修正できるというような状況で取り組んでいる。
委員	施設に投下した資金を、減価償却費でその耐用年数に渡って資金を回収していくが、40年も資産を使っていると、物価の変動で昔に投下した資金額で同じものが買えないような事象が生じるため、損益計算書ベースの費用に資産維持費を加えて料金水準を決めるとというのが水道料金算定要領の流れになる。
4 その他	
議長	審議事項は以上となるが、委員及び事務局から意見等あればお願いしたい。
委員	上下水道の分野の広域化は、主導するのは国・県・市のどこになるのか、参考にお聞きしたい。
事務局	水道及び下水道の広域化を行う場合は、都道府県が主体となる。
委員	八潮市の下水道管の事故が1月に発生したが、郡山市の3月議会で下水道の維持管理等に関する質問はあったのかお聞きしたい。
事務局	大まかな内容では、市でどのような点検をしているか、過去の陥没の事故の件数などの質問があった。
委員	上下水道を考える時には、郡山市が全体的な街づくりをどう考えているか、今まさに新市長の考えとリンクして進めていかないと、なかなか難しい時代になっている。 また、この審議会との役割や共通認識をどう取っていくかは、非常に重要なことだと思っている。
議長	今このような意見が出て、今後は事務局でそういう観点も考慮していただけるのではないかと思う。
議長	事務局からは何かあるか。
事務局	【次回の審議会日程について】説明
議長	円滑な議論の進行に協力いただき感謝する。委員からの質問が無いのであれば終了する。
委員一同	意見なし。
5 閉会	
事務局	以上をもって、第5回郡山市上下水道事業経営審議会を閉会する。